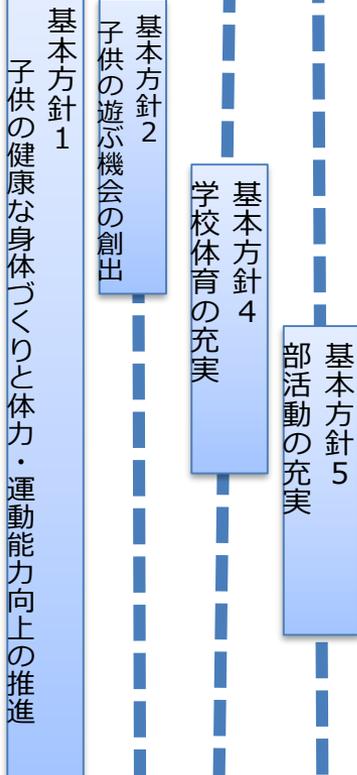


## ■ 宮城県スポーツ推進計画後期アクションプランに基づいた新たな対策



- 健康三原則（食事/睡眠/運動）意識が低く、特に「運動」の意識が低い

食に興味があり、運動に関心のない子供たちに運動の楽しさを体験させる

- 小学生は全国に比べ運動時間が少ない

小学校ステージにおいて運動に親しむ時間を確保し、楽しさの体得を目指す

- 中学生は全国と同様二極化が進んでいる

小学校ステージの興味関心を中学校の運動部活動につなげる

- 中学生は7時間以上運動する割合は高い

居住地に左右されない質の高い部活動の実現

- 体力（持久力）と学力は相関関係がある

体力が上がれば学力も上がる 学ぶための体力を高める

体力・地域スポーツ力向上推進事業の実施

児童生徒の体力及び地域スポーツ力の向上を図るため、大学や民間企業等と連携して課題解決に意欲的に取り組む市町村等の取組を支援する新たな事業を実施

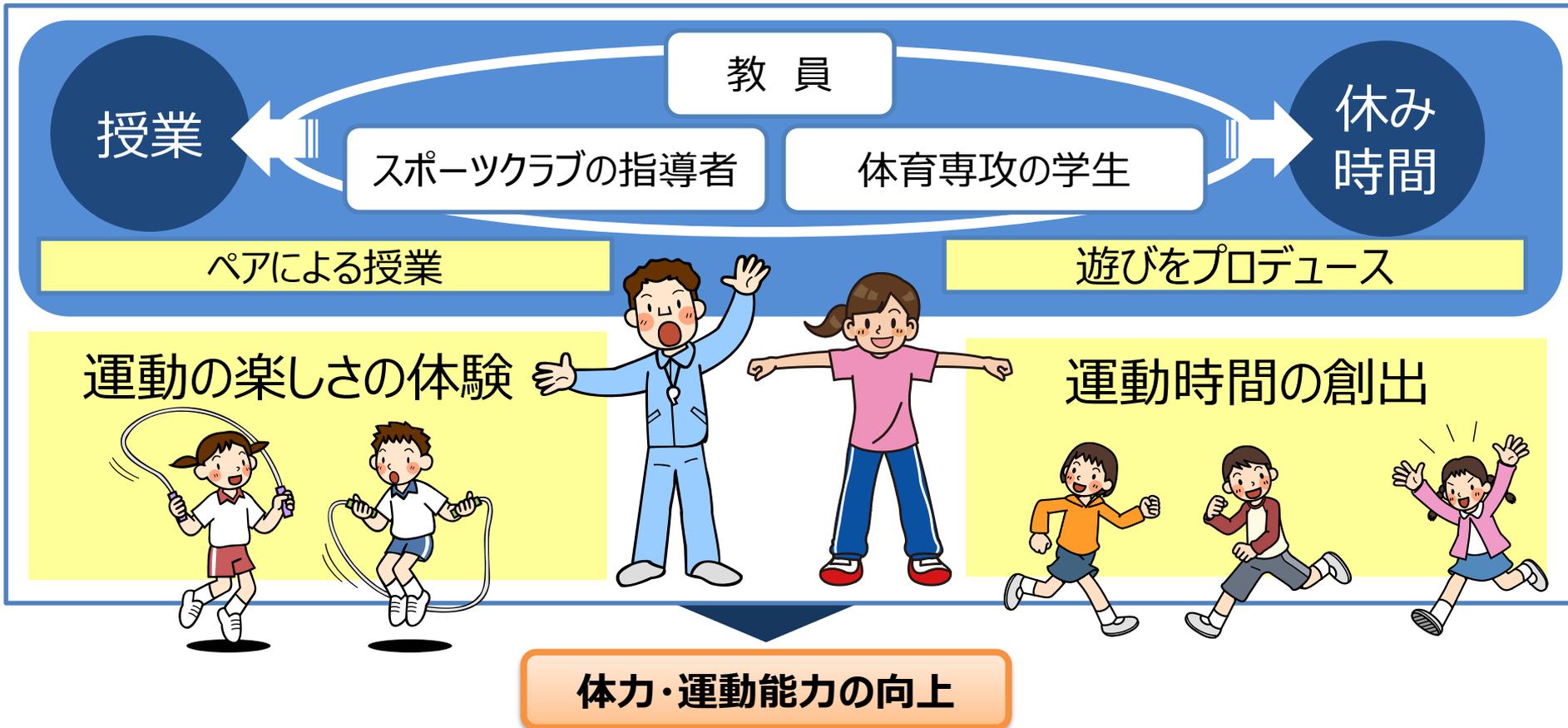
# 体力・運動能力向上対策【小学校ステージ】

資料6-2

- 体育科の学生や民間等の外部専門人材を活用し、体育の授業改善及び休み時間における新たな遊びを創出し、体力・運動能力の向上を図っていく
- 大河原町では、あわせて体力と学力の相関関係を調査・分析する

利府町 × リーフラス(株)

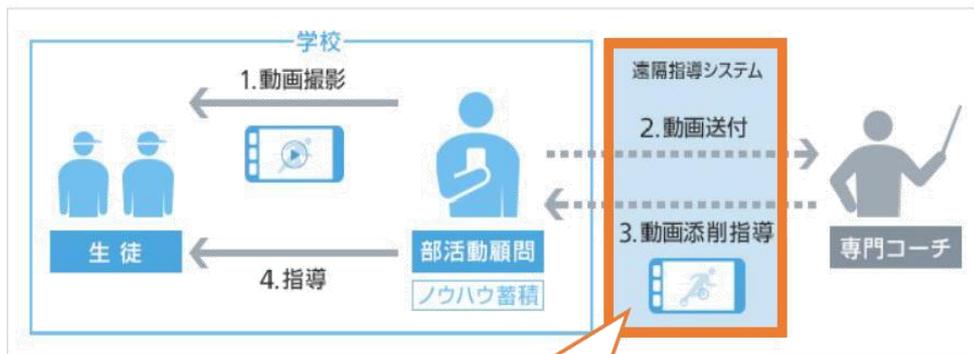
大河原町 × 仙台大学



- 競技スポーツに精通する専門人材が不足する気仙沼市では、仙台大学とソフトバンク(株)と連携し、学生等によるタブレットを活用した遠隔指導等を実施

## 気仙沼市 × 仙台大学 × ソフトバンク(株)

部活動指導の悩みを専門コーチに相談



### 仙台大学学生

専門的知識・技能



- 生徒理解力, 指導力を身に付け卒業

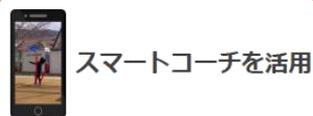
自己有用感  
の高まり

指導力の  
向上

学校現場  
の把握

『教員』を志すきっかけに

### 気仙沼市の中学校



具体的な解決策や動画添削  
によるサポート

県大会出場など成果あり

# 令和元年度「体力・地域スポーツ力向上推進事業」実施報告

市町村	支援団体	内容	成果	今後の課題
利府町	リーフラス(株)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育指導員による体育科授業の支援</li> <li>・体育指導員による児童の休み時間遊びの支援</li> <li>・体育科授業等に関わる教員の業務支援</li> <li>・児童意識調査の実施と分析</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童へのアンケート調査「体を動かしたり、スポーツをしたりすることは好き」と90%が回答</li> <li>・教職員へのアンケート調査「指導員の指導・児童への関わり」について、100%好感的な回答</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業間休みや昼休みに「ミニイベント」を実施し児童の運動機会の創出へとつなげる。</li> <li>・体育授業の内容共有。担任教諭との打合せ時間を確保する。</li> </ul>
大河原町	仙台大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業間休みの運動の検討・開発</li> <li>・教員研修と児童への技術指導</li> <li>・家庭、保護者への啓発（生活習慣、食育について）</li> <li>・調査、研究内容の分析とフィードバック</li> <li>・体力と学力の相関関係の調査、分析</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の「投げる力」に課題があることから、2種類の教具を開発し、全国体力運動能力調査の結果向上につながった。 (移動型簡易ゴールリンク、投てき練習器)</li> <li>・「身体を動かす遊びやスポーツが好きか」と答えた児童の割合が増加した。※全体で3.5%増(男子95.0%→98.4%、女子81.5%→85.1%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「投げる力」について、学期毎や年度毎に測定し、データ比較をするなど、調査における変容を見取る必要がある。</li> <li>・今後も低体力コホート群の児童にケアを行い、変容を定量的に見取る必要がある。</li> <li>・大学と学校間での連携を密にし、方向性の確認を確実にし、随時点検する必要がある。</li> </ul>
気仙沼市	仙台大学ソフトバンク(株)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仙台大学によるタブレットを活用した指導支援</li> <li>・専門的な知見者(教授等・学生)を招いての直接指導</li> <li>・顧問、外部指導者のスキルアップ研修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門コーチからのアドバイスにより技術指導に役立ったこと。</li> <li>・様々な場面で効果的な練習メニューを指示することができたこと。</li> <li>・動画を通じて客観的に課題や改善点をチェックすることができたこと。</li> <li>・生徒たちの主体性を育むきっかけとなったこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・顧問と指導者との事前打合せを確保する。</li> <li>・タブレットの活用によって、より効果的な支援につながる。</li> <li>・年間を通した、大学側と学校側のスケジュールの検討が必要である。</li> </ul>